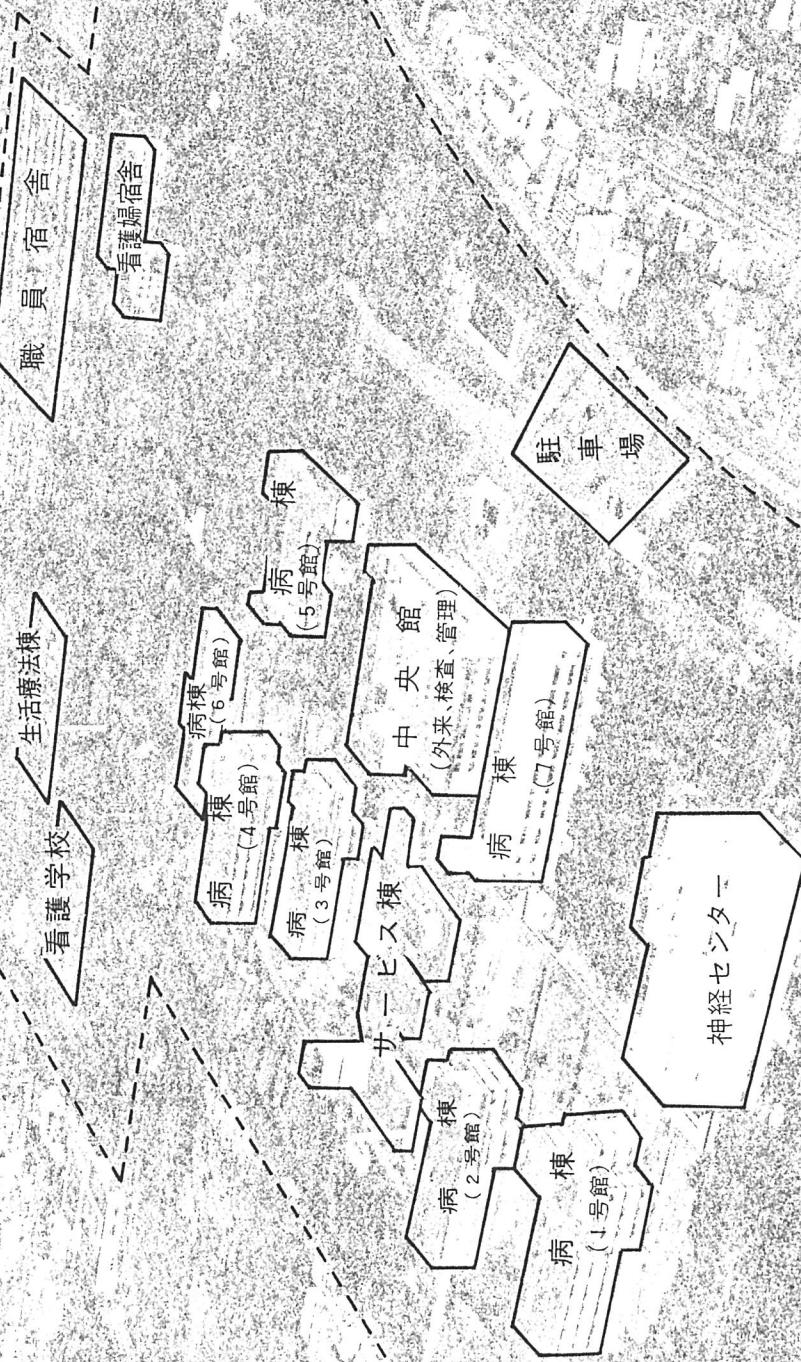
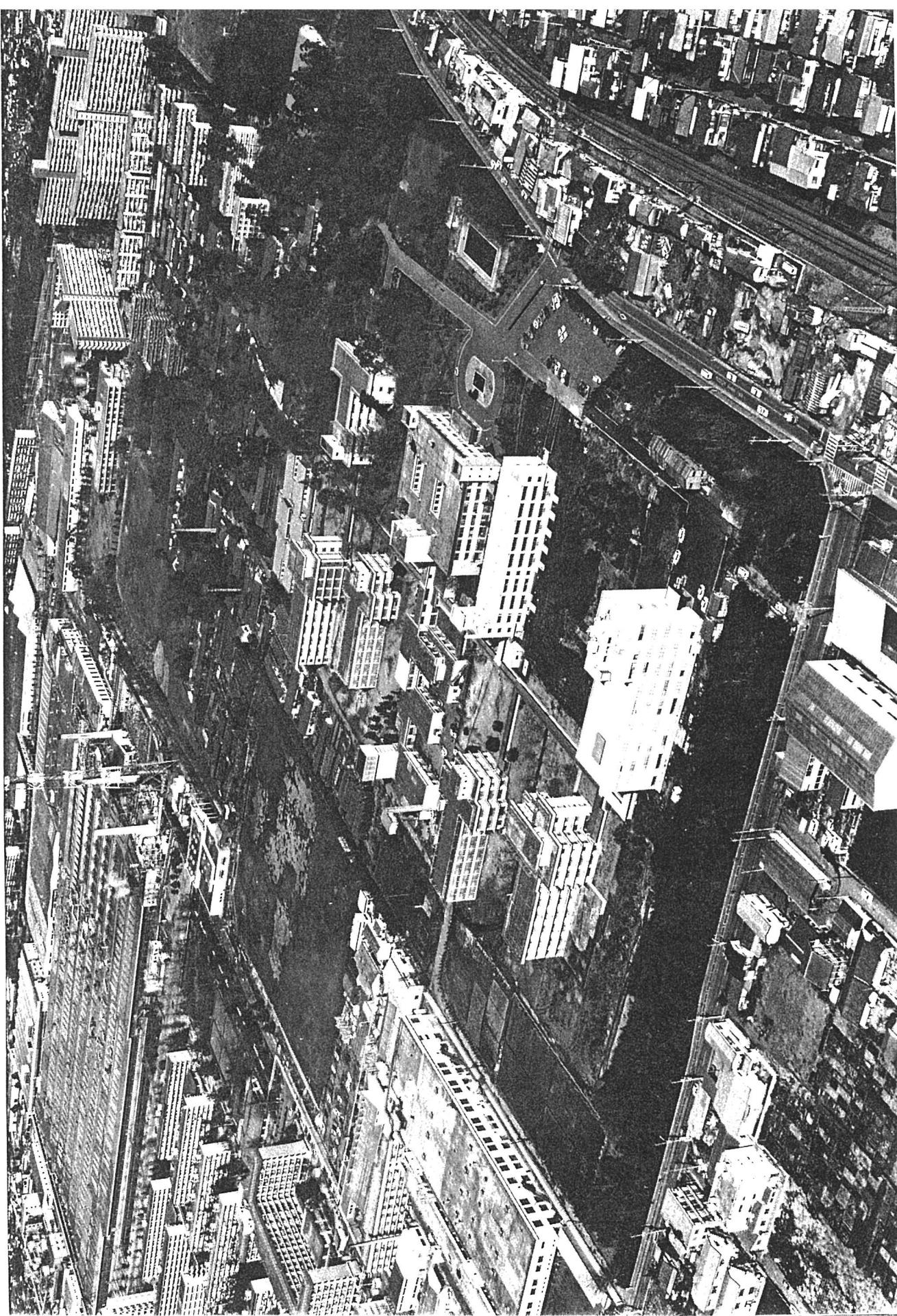


国立武藏療養所神経センター 開 所 記 念

昭 和 53 年 4 月





ごあいさつ

国立武藏療養所長
(神経センター長)

猪瀬 正

待望の神経センターが、ようやく開所式を迎えることになりました。種々の事情からその開所がおくれましたことは、大変申訳なく、遺憾に存ずる次第であります。

本センターは、さしあたり臨床部門4部、基礎部門4部計8部で出発することになりましたが、お蔭様で、各部には、それぞれすぐれた研究者を迎えることができました。センターの機構、とくにその研究スタッフの数につきましては、まだ充分とはいえませうそれは今后の課題として残されることになります。また、研究用の機器も、必要なものは整えることができました。このように、本センターの設立の目標である4本の柱—進行性筋ジストロフィー症、重症心身障害、変性性神経疾患、精神疾患の研究体制が確実に出発する運びになったのであります。今やわたくしどもは、センターの任務の重大さと責任をあらためて痛感する次第です。

思えば、神経センターの構想が秋元波留夫先生によって提案されてから10年を経過しました。しかし、現実にその設立に踏みきられたのははるか後になってからであります。設立準備委員が決定されて、その第1回の委員会が開かれましたのは、昭和51年1月16日であります。委員会の作業が精力的に進められる一方で、その案の一部が予算化され、ようやく今日を迎えたのであります。厚生省当局のご努力もさることながら、設立準備委員会の委員の方々、そして深い関連のある民間の諸団体の方々、国会議員の諸先生方の並々ならぬご支援によるものであることを忘れることはできません。

この神経センターの建設のために、由緒ある国立武藏療養所が選ばれましたことは、なにかの因縁であります。センターの発展のためには、所長以下、職員全員が協力しまして、難病の治療研究の上で大きな成果があげられますことを心から祈念するものであります。

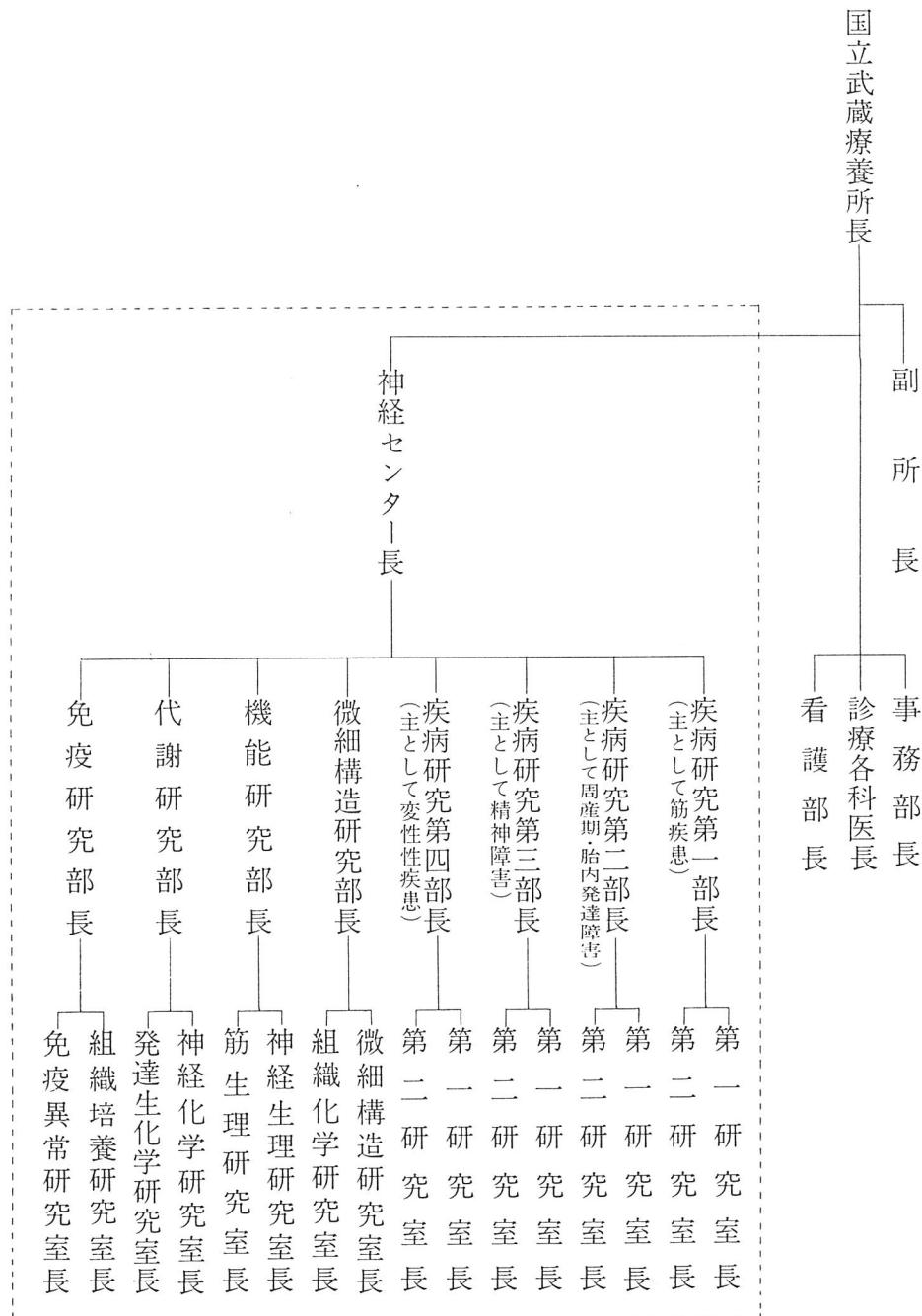
神経センター設立の経緯

この神経センターは、医学者、患者、親の会、母子保健関係者等による強い要請がきっかけとなって設立されたもので、その経緯は、次のとおりであります。

- 昭和49年 7月 厚生省に「精神・神経・筋・発達障害研究体制検討会」が設置された。
- 昭和50年 3月 同検討会から検討結果が報告された。
- 昭和51年 1月 厚生省は、「国立精神・神経・筋・発達障害センター(仮称)」の設置を決定し、その設立準備委員会を発足させた。
- 昭和51年 8月 同委員会は、センターの運営等基本構想について検討、中間報告を提出した。
- 昭和51年 8月 「国立神経センター（仮称）」の基本設計に着手。
- 昭和52年 3月 「国立神経センター（仮称）」の建築に着工。
- 昭和53年 1月 「国立武藏療養所神経センター」として発足。
(厚生省組織規程の一部改正)
- 昭和53年 4月 開所式を挙行。

組織図

内は神経センターの組織である。

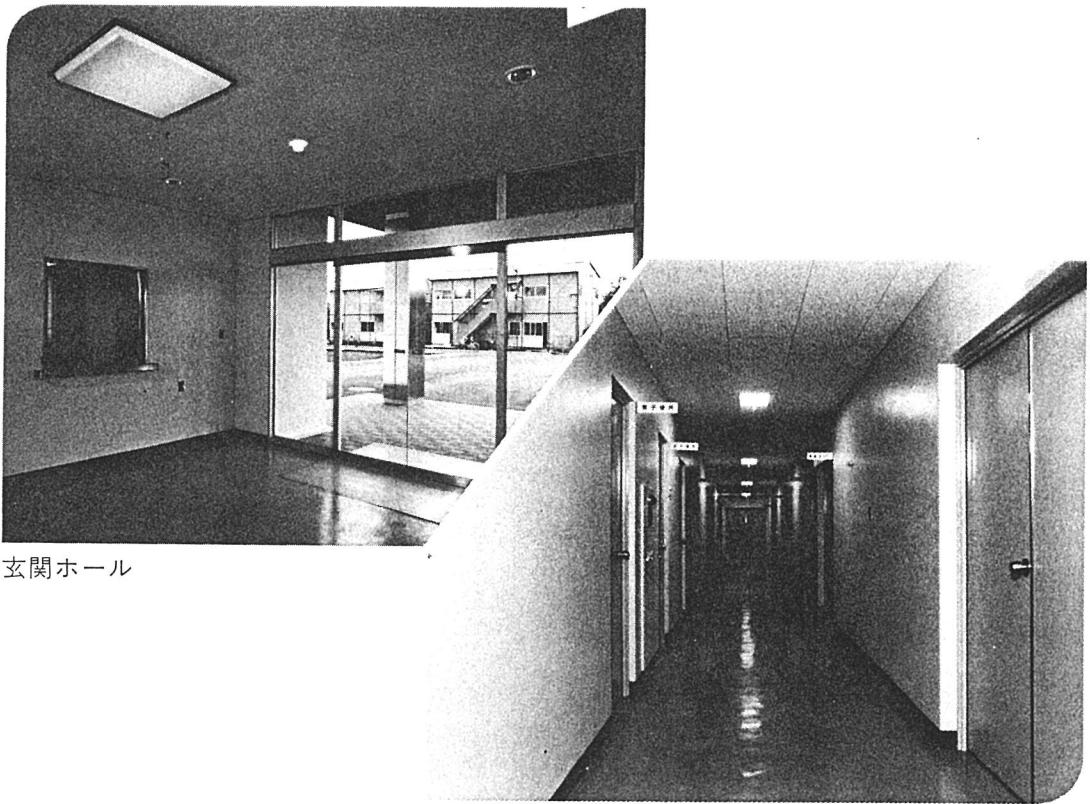


建 物 の 概 要

階 数	面 積	主 要 用 途
1 階	1 ,0 9 8 m ²	センター長室、センター事務室 中央機器室、R I 実験室 疾病研究第 2 部研究室 機械室、受電室、空調機械室
2 階	1 ,0 2 6 m ²	代謝研究部研究室 免疫研究部研究室、空調機械室
3 階	1 ,0 2 6 m ²	疾病研究第 4 部研究室 微細構造研究部研究室 電顕室、空調機械室
4 階	1 ,0 2 6 m ²	疾病研究第 1 部研究室 疾病研究第 3 部研究室 機能研究部研究室、空調機械室
5 階	3 8 4 m ²	動物室、機械室
6 階	6 0 m ²	エレベーター機械室
計	4 ,6 2 0 m ²	

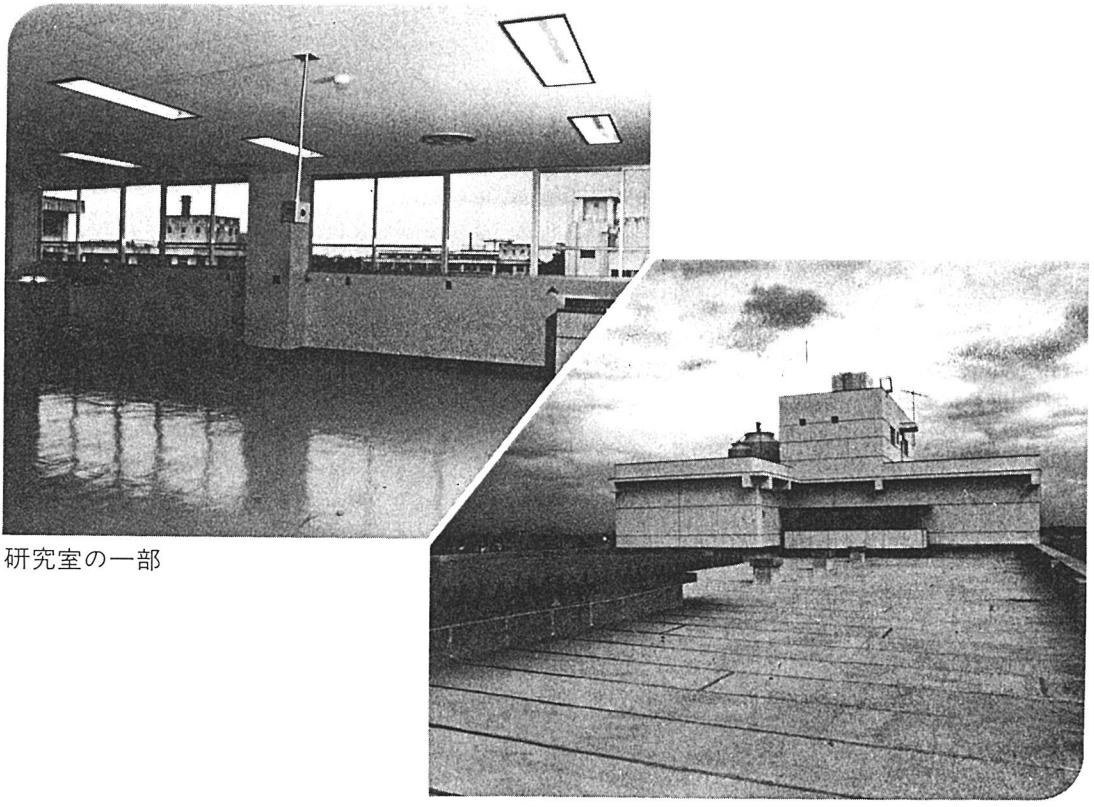
主な研究用機械 (昭和52年度整備分)

電子顕微鏡	3台
サイトフルオログラフ	1台
全自動ラジオイムノアッセイ装置	1台
液体シンチレーションカウンター	2台
ガスクロマトグラフ質量分析機	1台
分離用超遠心機	3台
分析用超遠心機	1台
二波長自記分光光度計	1台
原子吸光炎光光度計	1台
アミノ酸分析機	2台
高速液体クロマトグラフ	1台
筋電計	1台
頭部X線精密撮影装置	1台



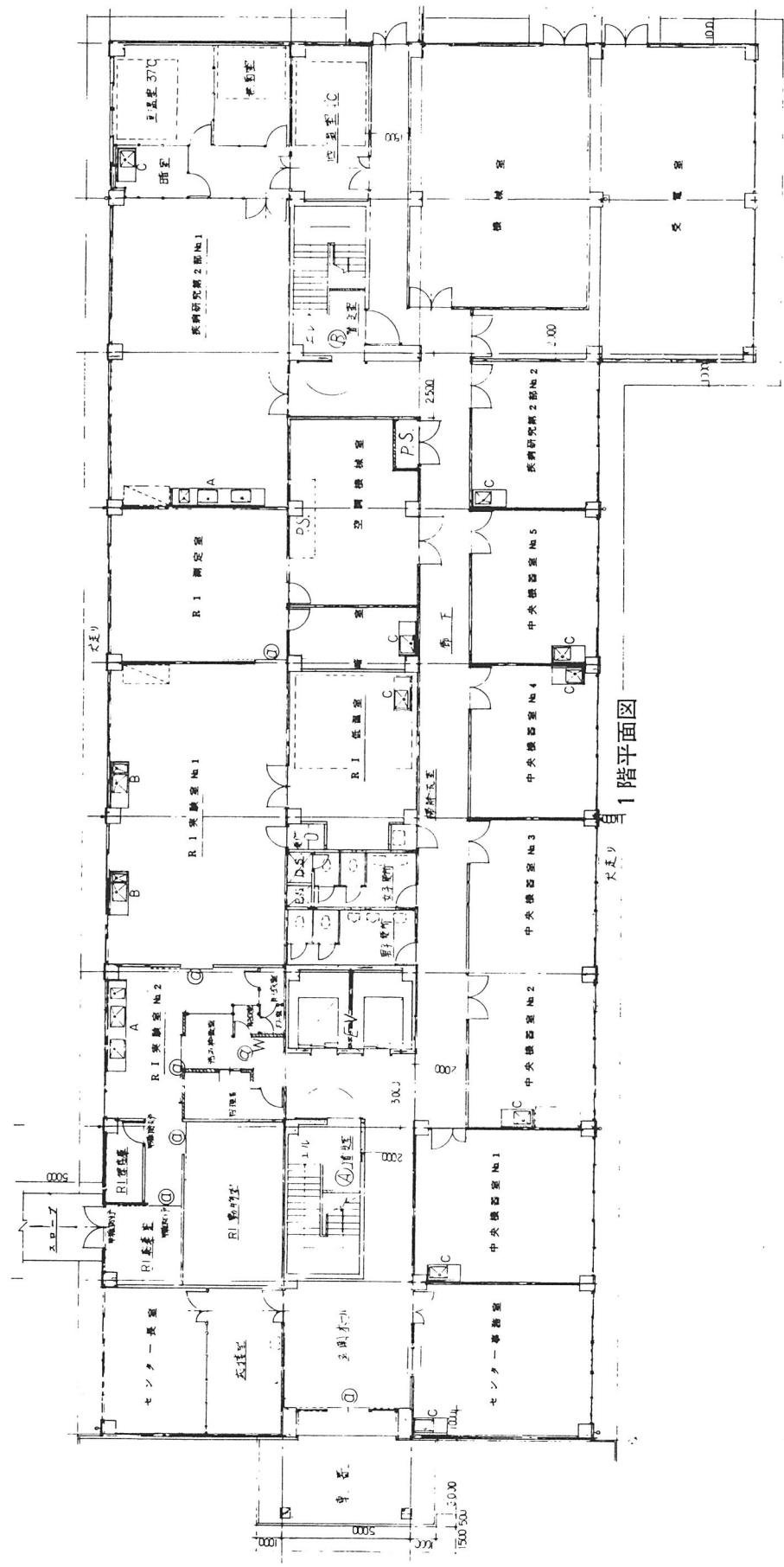
玄関ホール

廊 下

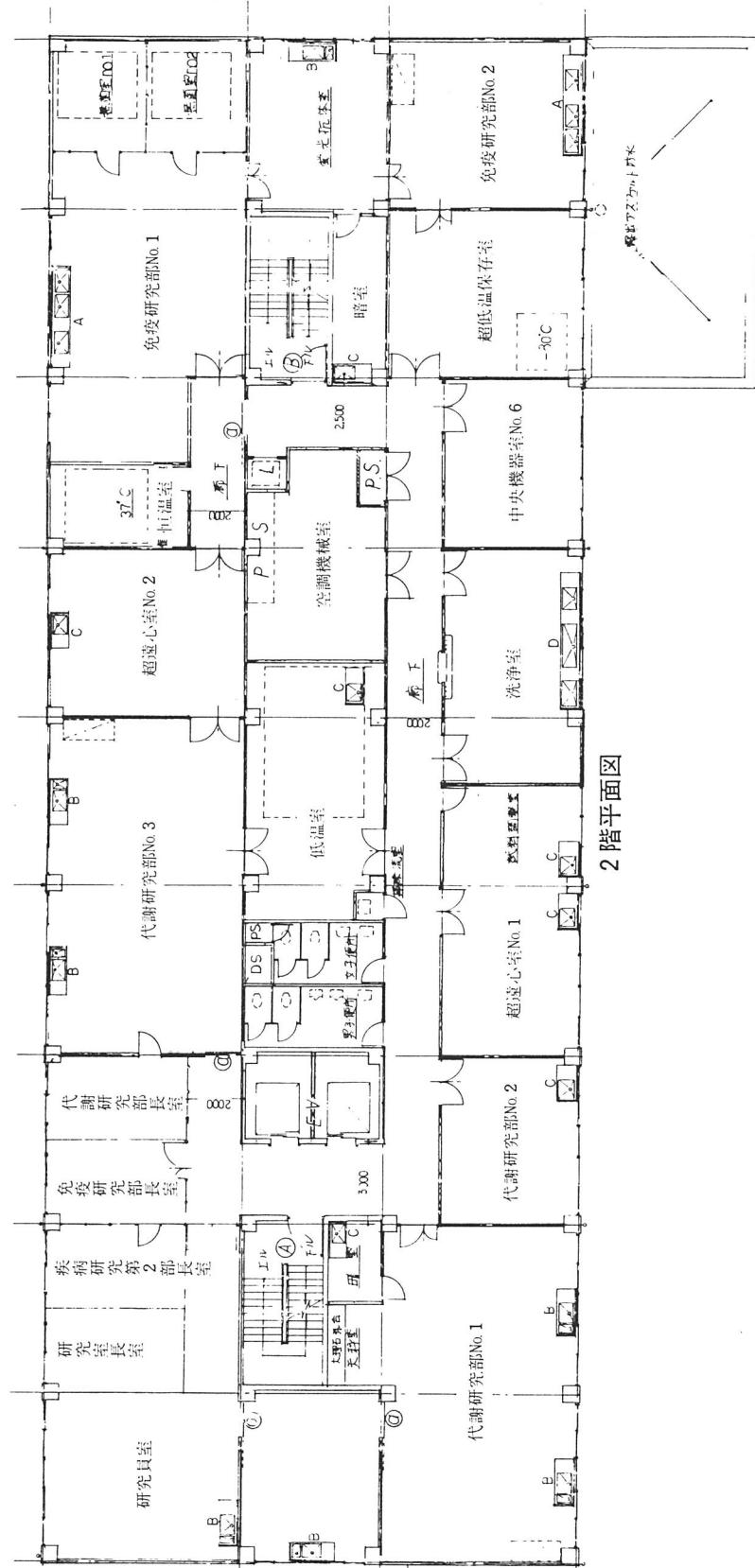


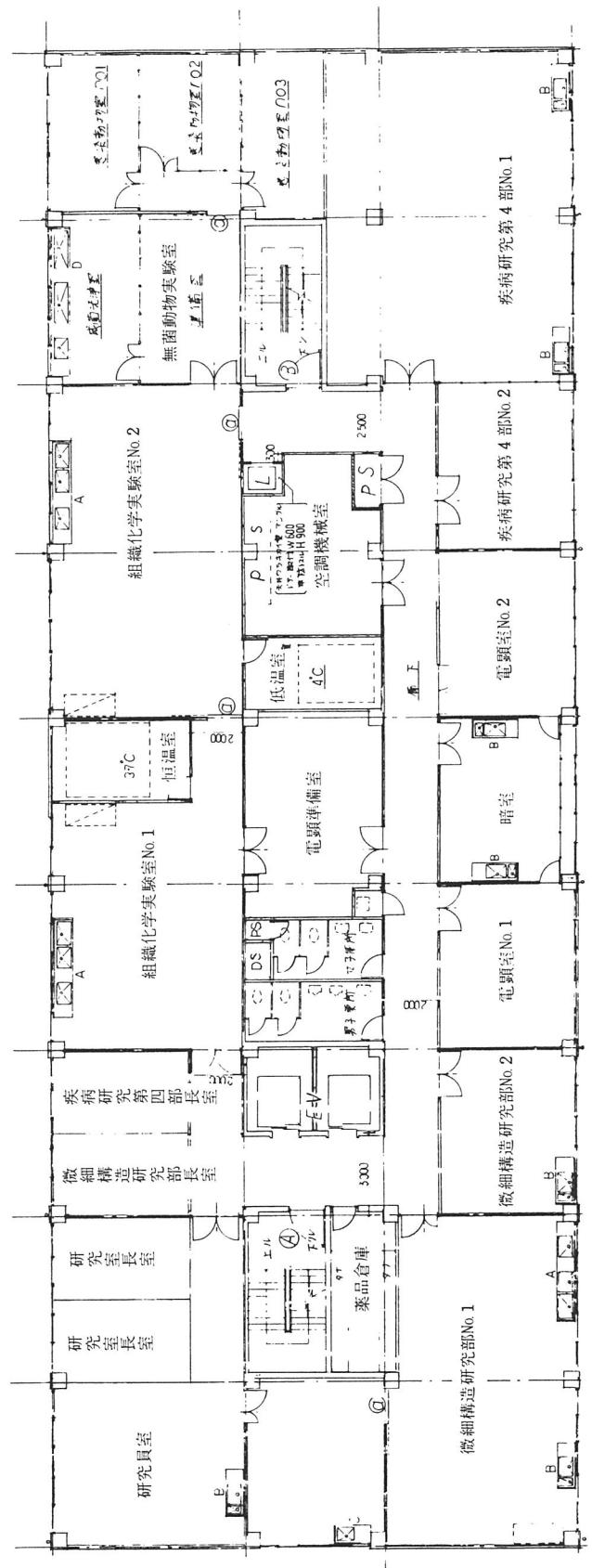
研究室の一部

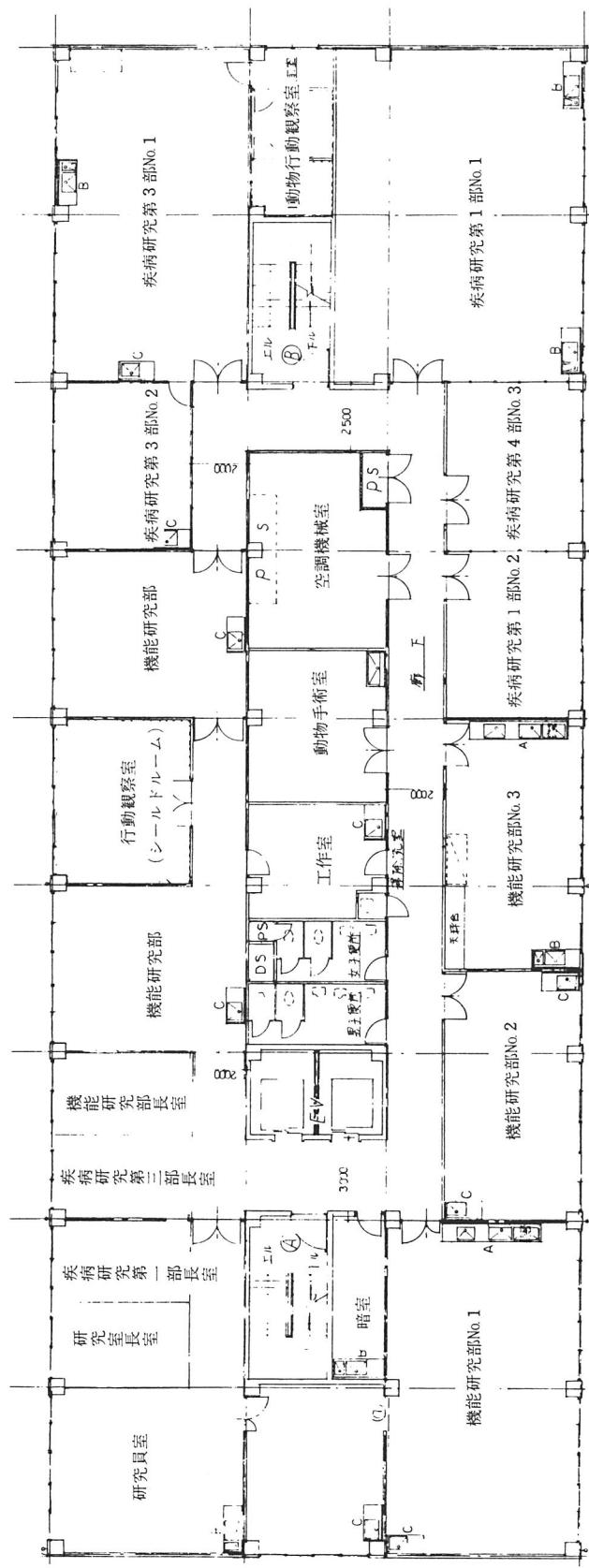
屋 上



1階平面図

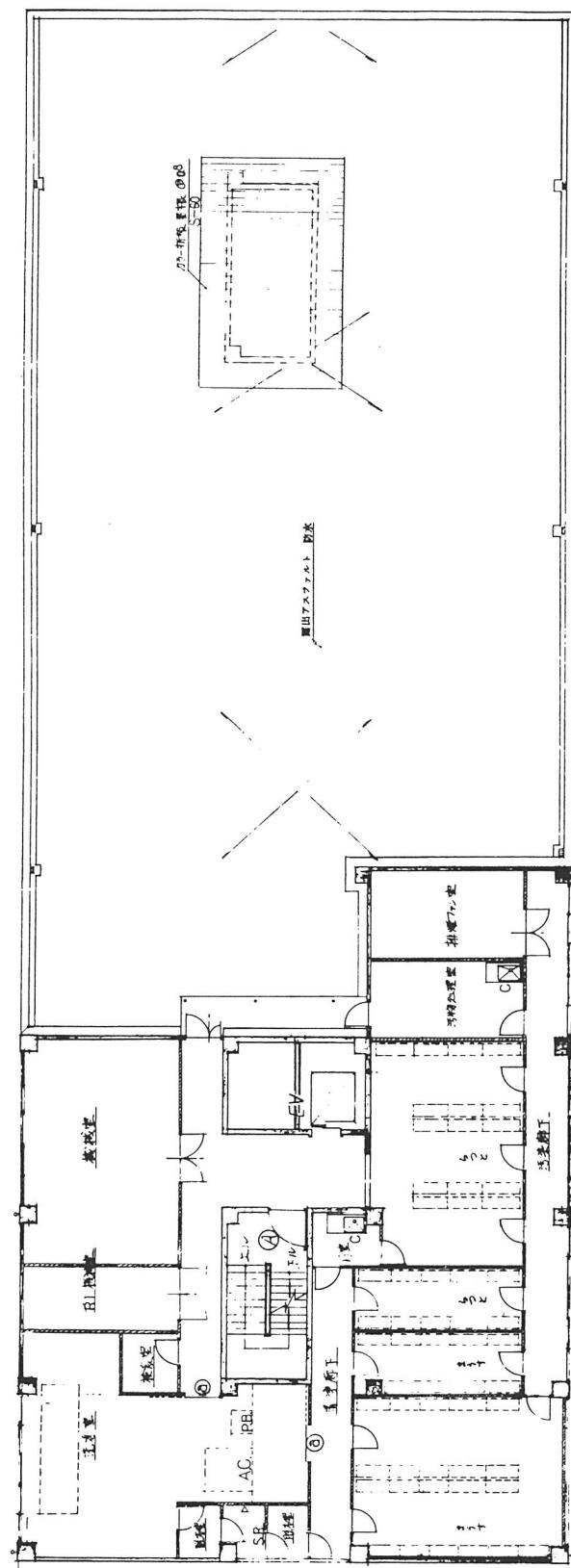




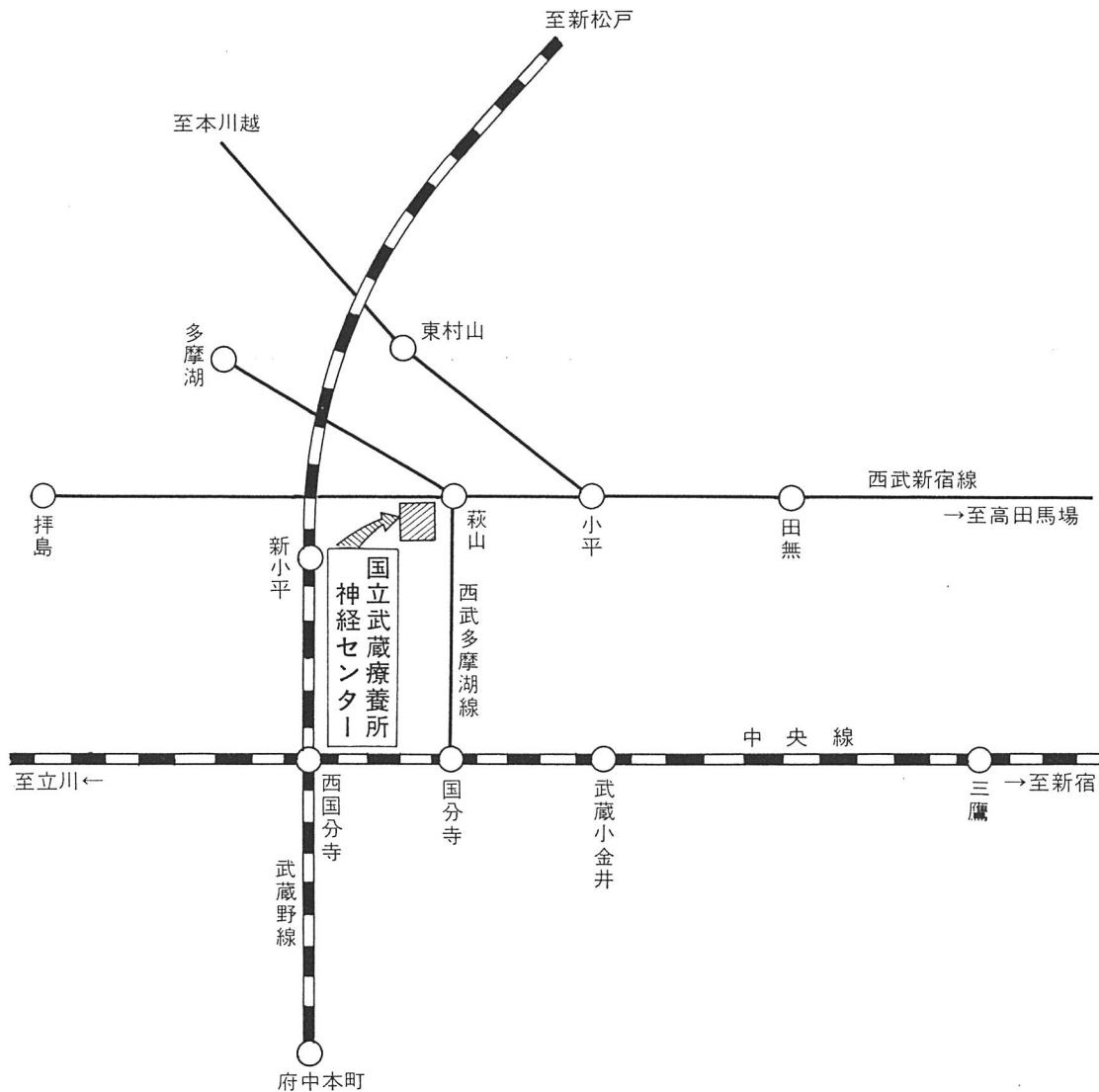


4階平面図

5階平面図



(交 通 略 図)



◆交 通

- 1 国電高田馬場駅より西武新宿線拝島、多摩湖行にて萩山駅下車 徒歩5分 (所要時間45分)
- 2 国電中央線国分寺駅より西武多摩湖線に乗り換え萩山駅下車 徒歩5分 (所要時間15分)
- 3 国電武藏野線新小平駅下車 徒歩15分